

# 北海道・斜里岳（1545m）・雌阿寒岳（1499m）登山



## 「雌阿寒岳頂上からの絶景・阿寒湖を望む」

期間 2017年8月25日（金）～28日（月）

参加者 石川 誠 他1名

行程 8/25日（金）晴

羽田空港 11:20 発-13:00 着 女満別空港-網走監獄博物館見学-16:50 緑清荘（泊）

羽田から女満別空港へ飛び、レンタカーで宿泊予定の緑清荘に向かうこととするが、時間もあるので博物館・網走監獄に寄る。この施設は、明治23年建設された。昼食はさんまと切り干し大根のあえ物、白米7分、麦飯3分のなど大変ヘルシーな監獄定食を食べ、大変美味しく戴いた。経験のない世界関心持って見学した。網走監獄の見学を終えて清里町にある緑清荘に入る。

8/26日（土）晴



ベルニナの佐藤公俊君と」

宿舎 5:30 発-6:00 清岳荘登山  
口 6:20-7:25 下の二股 7:35-9:30  
上の二股 9:40-

馬の背 10:15-10:50 斜里岳頂  
上 11:10-13:00 熊見峠  
13:15-14:15 下二股 14:25-  
15:30 清岳荘-16:30 緑清荘泊

宿から40分ほどで斜里岳登山口のある清岳荘に車を止めスタートする。



【登山道は一ノ沢沿いに遡行する】

林道を暫らく進み、クマ出没中の看板を横目に見ながら一ノ沢沿いに何度か渡渉

しながら時間程進み火砕岩で浸食された仙人洞を過ぎて旧道登新道の分岐点である下二股に到着する。ここから旧道沿いに沢伝いに進む、旧道には睡蓮の滝、羽衣の滝、見晴らしの滝など 8 ケ所の滝が懸る。途中スラブ状の滝などはフリクションを利かして乗り越えて行く。急な滝にはフィックスロープがあるが余り当てにしない方がよい。やがて水量が減ってくると上二股に着き新道と合流する。



「南斜里岳への稜線」



「斜里岳頂上で」

ここからはガレ場を詰めて馬の背に出る。右手には南斜里岳方面の展望が開けて、左ノガレ場を頂上への道を辿る。

途中で思わぬ人と出会う。ベルニナの佐藤公俊君であった。彼は馬場島での追悼集会を終えてフェリーで北海道に入り、札幌で職場のOB会のゴルフコンパに参加し、北海道の山を転々としているとのこと、斜里岳が終わったら明日は羅臼に向かうとのこと、お互いの安全登山を祈りながら別れる。下界では宴席でしか会わない男と山の中で逢える奇遇には改めて新鮮なものを感じた。小さい社を過ぎて頂上に立つ。眼の前にはオホーツクの海が広がり心地よい風が汗をぬぐってくれてまさに気分爽快であった。

昼食を摂り、頂上で記念撮影して、元来た道を上二股まで戻り、新道を熊見峠まで稜線を辿り一気に下二股迄急坂を下る。ここでの下りは一気に下り段差もまちまちで膝に来る。下二股からはもと来た道を沢を渡渉しながら登山口である清岳荘に戻った。

8/27日(日) 晴

宿舎 5:00 発-6:40 野中温泉登山口 7:20-8:05 三合目

8:10-8:50 五合目 9:00-10:20 雌阿寒岳頂上

10:55-11:05 五合目 12:15-野中温泉 13:30 着

山の宿野中温泉泊

宿で朝食を握り飯にしてもらい一路弟子屈、摩周湖を經由して391号線、241号線を經由して登山口でもある野中温泉に到着する。登山口は、見事なアカエゾマツの針葉樹の森が続き



「熊見峠からの斜里岳稜線を望む」



徐々に高度

を上げる。登山道には1合目～標識が立っていて登って行く目安になる。森林帯を過ぎると背の高いハイマツ帯になって高度を上げる五合目を過ぎると展望も良くなってオンネトーの湖も見えてくる。雌阿寒岳は女性の山と言っても活火山であり、頂上付近から見下ろす噴火口には強烈なエネルギーを感じる。

日曜日で、天気も良く小さなお子さんを連れた家族連れも多く見られファミリー登山には丁度良い山なのかもしれない。8合目を過ぎると右側にかなり雄大な爆裂口が口をあけていて激しく噴煙を揚げている。

頂上は北からの風を受けてかなり涼しい。此处からの阿寒湖、雄阿寒岳を望む景色

「快晴の中雌阿寒岳の頂上で」は雄大でまさに絶景であった。

景色を堪能しながら宿が用意してくれた握り飯を食べもと来た道をのんびりと下る。

午後からはゆっくりと温泉に浸かり疲れた身体を癒す、まさに至福の時である。

湯量豊富な硫黄泉は、釘を1本も使わない総トドマツ造りの湯船と相俟って肌に心地よい。

機会があったらもう一度訪ねてみたい温泉でもあった。

此处のご主人は112歳、ギネスに載ったとのこと、これも良い温泉の効用だと感心する。肖りたいものだ。

8/28 日晴

宿舎 7:40-オンネトー 8:00-9:15 女満別空港 9:40-網走刑務所・道立北方民族博物館見学  
女満別空港 13:40-15:30 羽田空港着-自宅 17:00

温泉でゆっくりと体を癒し、爽快な気分で行くオンネトーを目指す。車で5分ほど湖は周囲 2.5km 阿寒富士の爆発によりできたとのこと。静かな林の中にあつた。静寂の中に湖を隔てて雌阿寒岳、阿寒富士の峰が望まれ景勝の地でもあつた。その後240号線をひた走り女満別空港に帰りのチケットを確保し、時間もあつたので道立北方民族博物館を見学。又、懲りもせず網走監獄定食を食べに博物館による。今回の登山も天候に恵まれ心配してゐた膝のトラブルもなく、無事北海道の山旅を終えて 13:40 発の便で羽田への帰途に就いた。



「オンネトーからの雌阿寒岳と阿寒富士」

おまけの写真



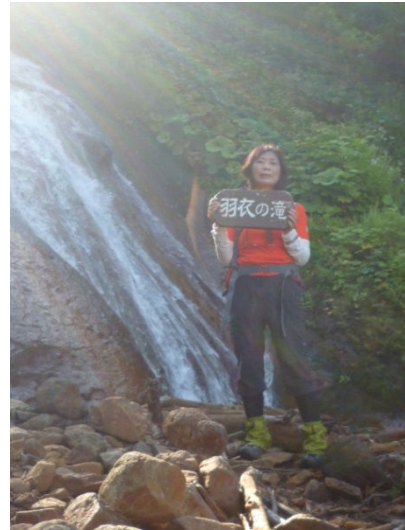
「斜里岳登山口 清岳荘」



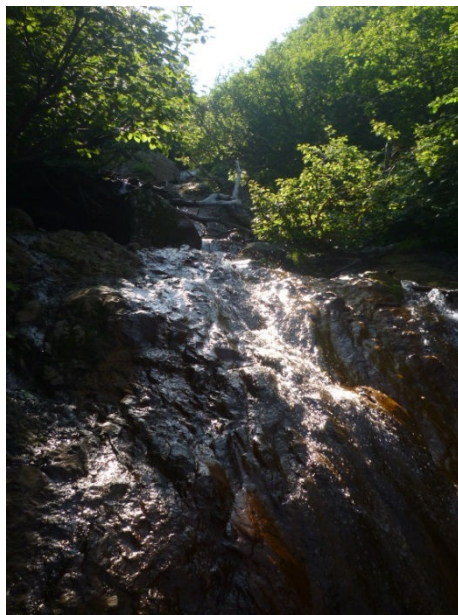
斜里岳一ノ沢・水連の滝



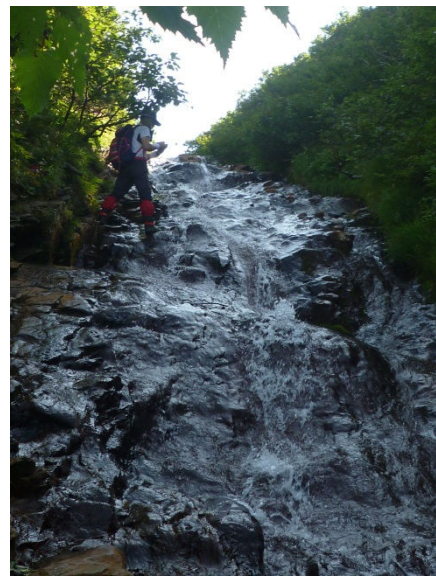
斜里岳・下二股



斜里岳・羽衣の滝



一ノ沢・滑滝を登る



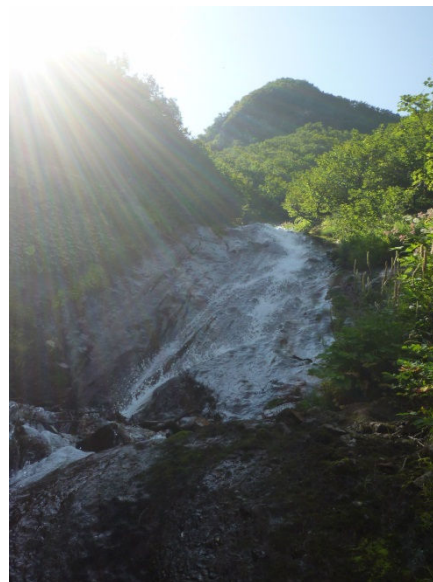
滑滝を越えて



トリカブト



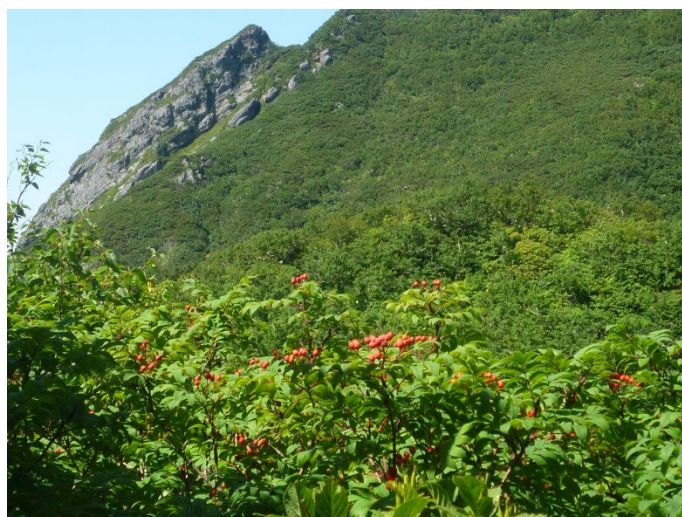
馬の背を越えて斜里岳頂上



滑瀧右のスラブを登る



熊見峠への稜線



ナナカマドの赤い実とガマ岩

**博物館 網走監獄を見学 (歴史など詳細はHPを)**



正門



守衛



4度脱獄した囚人・肩の関節など  
外し脱獄を企てたのこと



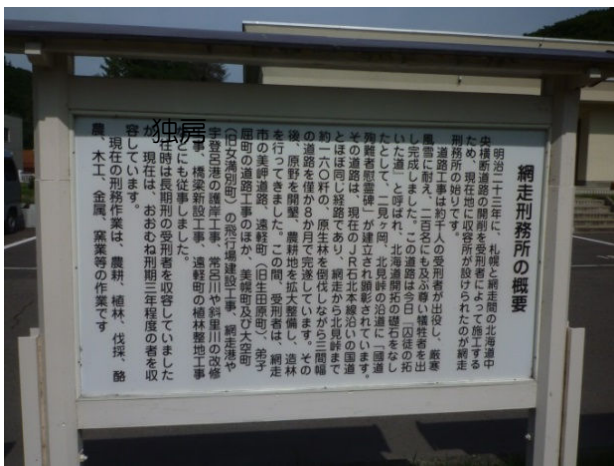
入浴風景 15分 5分刻みで入浴とのこと



独房



監獄定食さんま・麦飯  
ヘルシーで大変美味しかった



刑務所の案内板



舎房・木造では世界最古で最大規模